

北朝鮮の核実験に抗議する決議

核兵器の廃絶は、最初の被爆国である日本をはじめ、今や全世界の人類共通の願いとなっている。

しかしながら、北朝鮮政府は、5月25日に2度目の核実験を強行した。これは、北朝鮮に対して「さらなる核実験またはミサイルの発射を行わないよう」求めた国連安全保障理事会決議1718（2006年10月14日）に違反し、決して許されるものではない。

平和都市宣言を行った札幌市において、本市議会は、これまでも核保有国が核実験を行った際に抗議の決議を行ってきた。今日、世界の中で核兵器廃絶に向かう新たな機運が生まれつつあるときに行われた今回の核実験は、こうした動きに逆行し、北東アジアの平和と安全を脅かすものである。

よって、本市議会は、北朝鮮政府に対し、核実験の強行に強く抗議するとともに、今後いかなる核実験も行わないこと、核兵器及び核兵器開発計画を放棄することを強く求めるものである。

以上につき、決議する。

平成21年（2009年）5月27日

札幌市議会

（提出先）朝鮮民主主義人民共和国国防委員長 金正日

（提出者）全議員